

黒岩靖子議員

ふくろい遠州の花火を「稼ぐチカラ」に

問 袋井を花火のまちにするために、市民に一層興味を持ってもらう取り組みが必要ではないか。

答 これまでも市民参加の花火大会を目指し、商工会議所会員はもとより、交通安全会などのボランティアや大会翌日のクリーンアップ作戦には、約5500人の参加により、花火大会が支えられている。今後においても、ふくろい遠州の花火が地域のブランドとなるよう支援していきたい。

問 新たな観光スポットとして、花火会館を作れないか。
答 新たに花火会館の整備に取り組むことは難しい。花火大会を貴重な観光資源として、どのように稼ぐチカラに結び付けるかは、花火大会実行委員会などと検討したい。



ふくろい遠州の花火

SDGsを袋井でどのように取り組むか

問 SDGsを市内小中学校の授業で取り入れているが、市の取り組みなどの現状はどうか。

答 SDGsの目的や考えは、本市の「日本一健康文化都市」の理念と一致する。市民・事業者・行政が連携したまちづくりの一環として普及啓発に取り組んでいきたい。



ホームページにて一般質問の録画映像を公開しています。QRコードを読み取ってご覧ください。※パケット通信料がかかります。

竹野の昇議員

ごみ袋、上下水道 値上げについて

問 令和2年度水道会計剰余金は2億円余、下水道会計剰余金は2000万円余とも健全経営である。

答 令和2年度水道会計剰余金は2億円余、下水道会計剰余金は2000万円余とも健全経営である。しかし、生活苦に陥っている市民・事業者を配慮して、3つの値上げ案の撤回と見直しの検討を求めるが、市長の考えは。

問 脱炭素化に向けた取り組みを行う必要があるため、令和4年度からごみ処理の有料化を実施したい。また、水道料金・下水道使用料は、給水人口や水需要の減少に伴う収益減少が見込まれることが予測され、将来に向け、計画的な管路整備に必要な財源を確保するために料金改定をする。下水道事業は、公営企業の独立採算制を前提に、市民負担の適正化を図る観点から、一般会計からの繰入金金の早期解消を図るため、使用料の改定をする。



市販のごみ袋

監督委員を外部から選任してはどうか

問 外部監督委員ならば、経費を削減することも、事業の見直しを図る観点から、市議会議員や市職員が気付かない面について、監査を通して指摘できる利点があるが、市長の考えは。

答 今後においても、官民間問わず、監督委員としてふさわしい方を選任していきたい。

太田裕介議員

自動車運転代行業に 対する支援策は

問 緊急事態宣言下、極めて悪化している自動車運転代行などの業種に、飲食業と同等の支援はできないか。

答 売上げ減少割合に応じた支援する「袋井市経営持続特別支援金」の創設を検討しており、本議会に追加の補正予算として上程する予定である。

問 夜の賑わい再活性化のための出口戦略は、どのように考えているか。
答 実施中の各種事業の効果を最大限発揮していくことに加え、夜間における地域内消費の活性化を図る「ふくろい夜宵プロジェクト」などを拡充していく。引き続き、観光協会や商工団体と連携し、夜の賑わいづくりに向けた取り組みの充実と支援を行っていきたい。



水の流れが滞った山梨用水取水口付近

山梨用水の安定的な 取水のために支援を

問 大雨の度に、水路変更工事を余儀なくされている山梨用水に対し、農業用水確保のために支援はできないか。

答 市が設置した取水堰を組合で維持管理していることを踏まえ、安定的な水の供給ができるまでの間、瀬替えに必要な費用の補助について、今後、検討を進めていきたい。